

# さざなみ

須崎市教育研究所 発行  
第10号 令和7年12月11日

## 「メタバース」研修 in 高知県心の教育センター

11月17日に高岡地教連教育支援部会の視察で、心の教育センターで「メタバース」の研修を受講しました。今年度から学校に通いづらい児童生徒（18歳以下）を対象に、オンラインの居場所支援として「メタバース」が始まりました。（事前申し込みが必要になります。）今日は、メタバースを使ってどのようなことができるかご紹介したいと思います。

### 【入室までの流れ】

①アバターを作る。



②アバターができたら入室



③最初に職員と会話をし、その後各自自由に過ごす。



アバターがあることによって、自分の顔出しをせず始められることは心理的ハードルが下がると思いました。また、マイクもオンオフ機能があるので、話をしたくない人はマイクを切って参加することができます。メタバース空間の中には、様々な空間が用意されていました。以下にいくつかご紹介します。

- ①学習スペース…勉強がしたい人向けに、各教科の練習問題に取り組める場所です。小学校から高校までの学習ができます。
- ②屋上スペース…動物や綺麗な景色などの動画視聴ができます。
- ③談話スペース…誰かと話がしたい人はここに来るとオンラインで会話ができます。
- ④ラウンジスペース…ボードゲームができるスペース。会話しながらゲームをしたい人はここに来ます

また、談話スペース以外でも話したい人を見つけたら、その人の近くに寄ると会話ができるようです。実際にメタバース空間を体験して、参加者の皆さんはそれぞれ自分が興味がある場所を自由に動き回っていました。また、メッセージ機能を使って、参加者全員で「以心伝心ゲーム」にも挑戦しました。心の教育センターの職員さんが、全員にメッセージで「高知県の有名なお菓子は？」と投げかけ、「せーの！」という掛け声とともに、それぞれが自分の回答をメッセージで送ります。その際、一番多く回答があったものを答えている人が1ポイントゲットできます。このように、時には全員で交流する時間を取りたりもしているようです。職員の方いわく、参加者の方からお題を出してくれることもあるそうです。

研修を通して、私自身初めてのメタバース体験でしたが、自分が好きな時間に入退室ができることや、顔出しせずにいろんな人と交流ができること、誰にも邪魔されず学習ができ、分からることはすぐに質問ができることが非常に魅力的だと思いました。新たな世界を知ることができ、教員として学校に通いづらい児童生徒への1つのアプローチとして知っておくといいなと思いました。学校や自治体から希望があれば、心の教育センターの方がこのような研修を開いてくださるそうです。興味がある方はぜひ心の教育センターの方までお問合せをお願いいたします。